

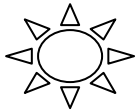
まるりん通信



屋久島世界自然遺産登録20周年事業

第160号

平成25年10月発行



I部

- ◎西田梨沙コンサート
- ◎屋久島20年の歩み(映像)
- ◎記念報告(8団体)
- ◎鹿児島県警察音楽隊による演奏



II部

- ◎屋久島木挽歌・相馬甚句
- ◎20thトークセッション
コーディネーター:檀ふみ
パネリスト:伊藤祐一郎(鹿児島県知事)
荒木耕治(屋久島町長)
- ◎「屋久島からのメッセージ」

支援会議参加団体一覧

- ・屋久島森林管理署
- ・屋久島森林生態系保全センター
- ・環境省屋久島自然保護官事務所
- ・鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所
- ・屋久島町議会
- ・屋久島町教育委員会
- ・屋久島町文化協会
- ・屋久島町商工会
- ・公益社団法人屋久島観光協会
- ・屋久島区長連絡協議会
- ・種子屋久農業協同組合
- ・屋久島漁業協同組合
- ・屋久島町地域女性団体連絡協議会
- ・屋久島里めぐり推進協議会
- ・特定非営利活動法人屋久島うみがめ館
- ・特定非営利活動法人屋久島エコ・フェスタ
- ・屋久島生物多様性保全協議会

11/23
(祝・土)

開催場所:屋久島離島開発総合センター

※詳細は島内各地に掲示しているポスター等をご覧ください



平成25年度 屋久島感動めぐり

第5回セミナー「世界遺産の島歩き」

絶景?

あなたはどっち?

森道?

モッチョム岳 or 龍神杉

開催日:11月1日(金)~4日(月・祝)

内容:集落散策・トレッキング・島一周ポイントラリー

対象:一般(高校生以上)

募集定員:20名(先着順)

参加費:24,800円(3泊8食、保険料含みます)

※但し、屋久島への往復旅費は含みません。

申込締切:平成25年10月18日(金)まで

◎申し込みならびにお問い合わせは研修センター(46-2900)まで

第3回 星空観察会

『秋の星から冬の星空へ』

大型望遠鏡による月のクレーター観察、
プレアデス星団(スバル)の観察などを行います。
望遠鏡をのぞく前にスクリーンを使って星座のお話をします。

開催日:11月15日(金)

時間:19:30~21:00(19:00受付開始)

会場:神山小学校

参加費:無料

◎天候不良の際は、内容の変更または中止になる場合があります。

◎詳しいお問い合わせは
研修センター(46-2900)まで

村センター 交流ホール展示 「絵手紙を愛する会 絵手紙展」

“屋久島してます”

屋久島の花が好き!屋久島の魚が・貝が好き!!

会員の皆さんの力作をご覧ください。

開催期間:平成25年10月12日(土)~31日(木)

開催時間:9:00~17:00(最終日は16:00まで)

休館日

村 C 10月:休館日なし

11月:5日(火) 11日(月) 18日(月) 25日(月)

研修 C 10月:7日(月) 21日(月) 28日(月)

11月:25日(月)

インストラクター便り

「秋から見られるちょっと変わった植物」 研修課 小西 祐伸

植物と聞くと、緑の葉っぱに綺麗な花を想像する人が多いと思います。今回は、植物らしくないツチトリモチの仲間をご紹介します。屋久島には3種が分布しています。

この時期、白谷雲水峡などの山道の脇に真っ赤で先端に丸みのあるキノコのようなモノが生えていれば、ツチトリモチかヤクシマツチトリモチの可能性があります。両種は非常に似ており、比較的小さい（3cmほど）場合はヤクシマツチトリモチ、比較的大きい（3cm以上）場合はツチトリモチの可能性があります。

ツチトリモチの仲間は寄生植物ですので、光合成をする必要が無く、緑の葉も持っていません。ツチトリモチはハイノキ科に、ヤクシマツチトリモチはクロバイやオニクロキなどに寄生します。

先端の丸い部分をよくよく見ると小さなイボに覆われています。このつぶつぶの間に花があります。花は非常に小さく外からは見えません。

もう一種はキイレツチトリモチでシャリンバイやトバラなど海岸近くを好む樹木に寄生します。そのため、低地で見られます。色は白っぽく、やはりキノコのような形をしています。

地味で小さな存在ですが、非常に興味深い存在です。是非、探してみてくださいはいかがでしょうか？



～～参考文献～～

- ・佐竹 義輔（1982）「日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類」平凡社
- ・「屋久島の植物ガイド」（2005）公益財団法人屋久島環境文化財団

9月の活動報告

9月23日（月・祝）に林野庁屋久島森林生態系保全センターと屋久島環境文化財団の共催で世界自然遺産登録20周年イベント「島と生きる屋久島カルチャー」を白谷雲水峡で開催致しました。林野庁職員が普段の業務の説明を交えながら自然や、名前のついていない杉を紹介し、それらの愛称を参加者の皆様に考えてもらいました。参加者からは「普段は来る機会のない白谷雲水峡に来られ、尚かつ名前をつけるイベントがあって楽しめた。」などの声が聞かれました。

屋久島を想う

アテンダント 駒野 聡子



私は生まれも育ちも屋久島ではありません。誰一人知り合いのいない場所での生活。小さな子を育てながら、時折煮詰まることもあり、散歩に出たりもしました。そんな時に地元の方から優しく声を掛けて頂き、心が救われたことを覚えています。様々な魅力のある屋久島。自然だけでなく人の温かみを伝えていけたらと想います。



9月28日（土）、29日（日）に「おい お茶」でおなじみの（株）伊藤園の鹿児島・霧島・福岡の各支店の皆様10名が、屋久島でボランティア活動を行いました。同社が7月～9月に行った「お茶で鹿児島を美しく。」キャンペーンの一環として実施したもので、今年で2回目になります。

1日目は林野庁職員のご指導の下、船行の見本林に植栽されているヤクタネゴヨウの保全活動（ヤクタネゴヨウに設置されているシカ食害防止ネットの撤去・回収）を、2日目は財団ボランティアも参加し、田代海岸の清掃作業を行いました。

